

## 授業科目

## 小児科学

担当教員名 新田 初美	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

## 授業の概要

子どもの最大の特徴は成長・発達するということである。小児のリハビリテーションはそのような成長・発達の途中で、日常生活、社会生活の中に生じる「不便」に対してその原因を追及し、何らかの工夫をすることで「生活の質の向上」を図るものである。小児のリハビリテーションに関わる者は、発育・発達、疾患・障害について学び、心の問題・母子保健・教育に至るまで、多様な角度からの見方ができなければならない。小児科学では、子どもに対する総合的な知識を習得し、小児のリハビリテーションに活用できる能力を養うことを目的とする。

## 授業の目的

子どもの発育・発達に関する基本的な知識を学び、作業療法に必要な子どもの疾患・障害に関する基本的な医学的知識を身につける。

## 学習目標

- 1 正常小児の発育・発達、生理、栄養、しくみ等を説明できる。
- 2 小児の発育・発達に関する基本的な傾向を説明できる。
- 3 小児の発育・発達の異常や疾患・障害を簡潔に説明できる。
- 4 子どもを支える養育者・保育・教育現場への働きかけの大切さを説明できる。
- 5 小児のリハビリテーションの基本概念を説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	小児の発育と発達：心身の成長と生理機能、運動発達、精神発達（心理・情緒の発達、認知発達）	講義	新田 初美
2	胎児・新生児・未熟児と周産期／早期療育の意義	講義	新田 初美
3	筋・骨系疾患（筋ジス、骨形成不全等）／整形外科系疾患（切断、二分脊椎等）	講義	新田 初美
4	神経系疾患／脳性麻痺／重症心身障害	講義	新田 初美
5	狭義の発達障害（自閉症、ADHD、学習障害等）	講義	新田 初美
6	内科系疾患	講義	新田 初美
7	外科系疾患	講義	新田 初美
8	母子保健／子どものリハビリテーションと専門職間連携	講義	新田 初美

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	小児科学 第4版（標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野）	富田豊 編	医学書院	2012年	4,200円＋税	
参考書						
その他の資料	講義内で適宜プリント配布					

## 評価方法

試験成績

## 履修上の留意点

解剖学、生理学等の基礎が習得されているものとして講義を行うので、よく勉強しておくこと。

## オフィスアワー・連絡先

授業開始時に連絡する